

# 2007年3月期 決算説明会

2007年5月30日

**日本光電工業株式会社**

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

# 決算の概要(連結)

- 1) 当期の決算概要
- 2) 営業利益増減の要因分析
- 3) 商品群別売上高
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) 財政状態
- 7) キャッシュフロー
- 8) 設備投資と研究開発費
- 9) 次期業績見通し
- 10) 株主還元策

# 1) 当期の決算概要

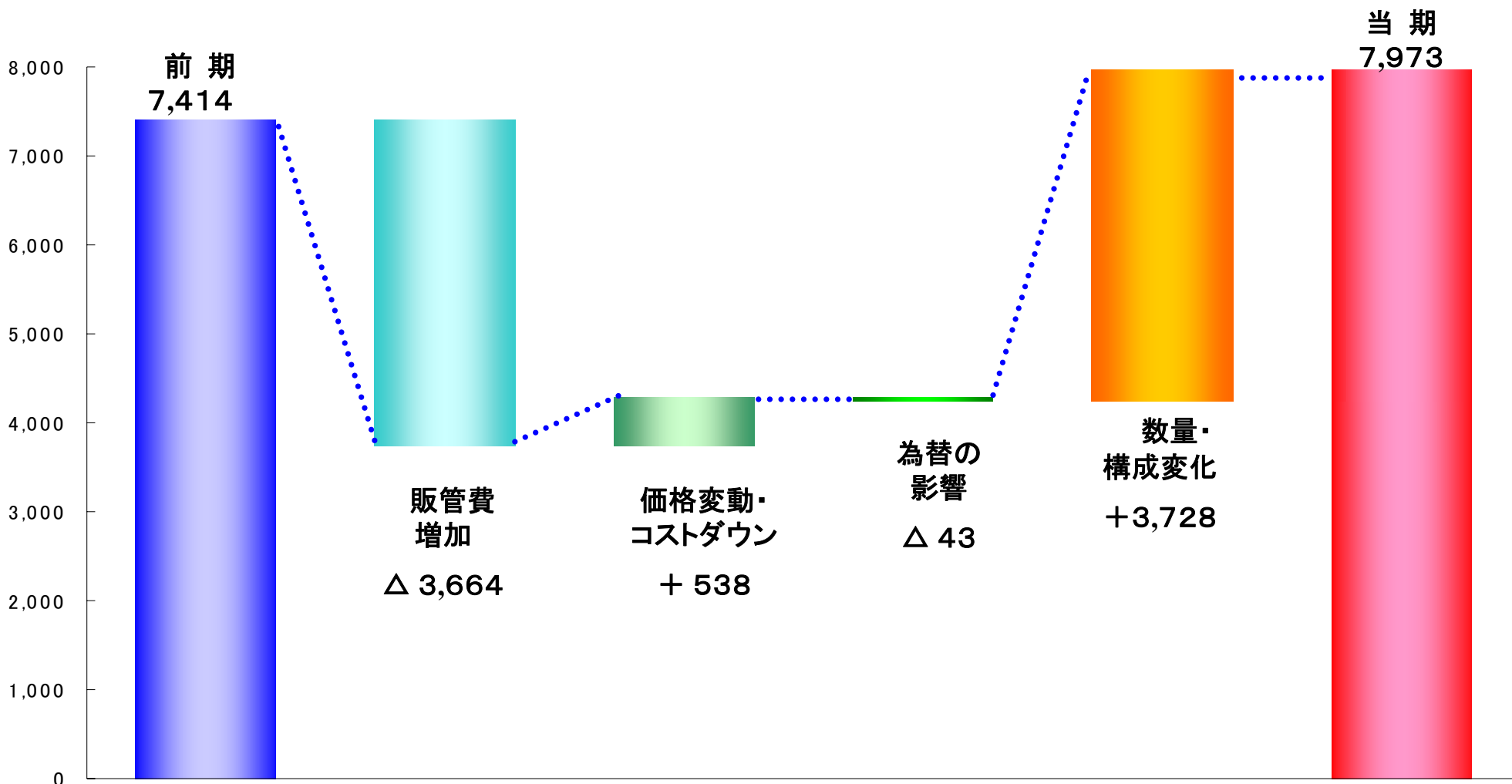
(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前期 (2006/3)	当期(2007/3)		
		前回予想※	実績	増減率 (%)
売上高	90,367	97,700	96,679	7.0
営業利益	7,414	8,800	7,973	7.5
経常利益	8,083	9,000	8,448	4.5
当期純利益	5,788	5,400	5,052	△ 12.7

※11/20中間発表時公表の予想数値

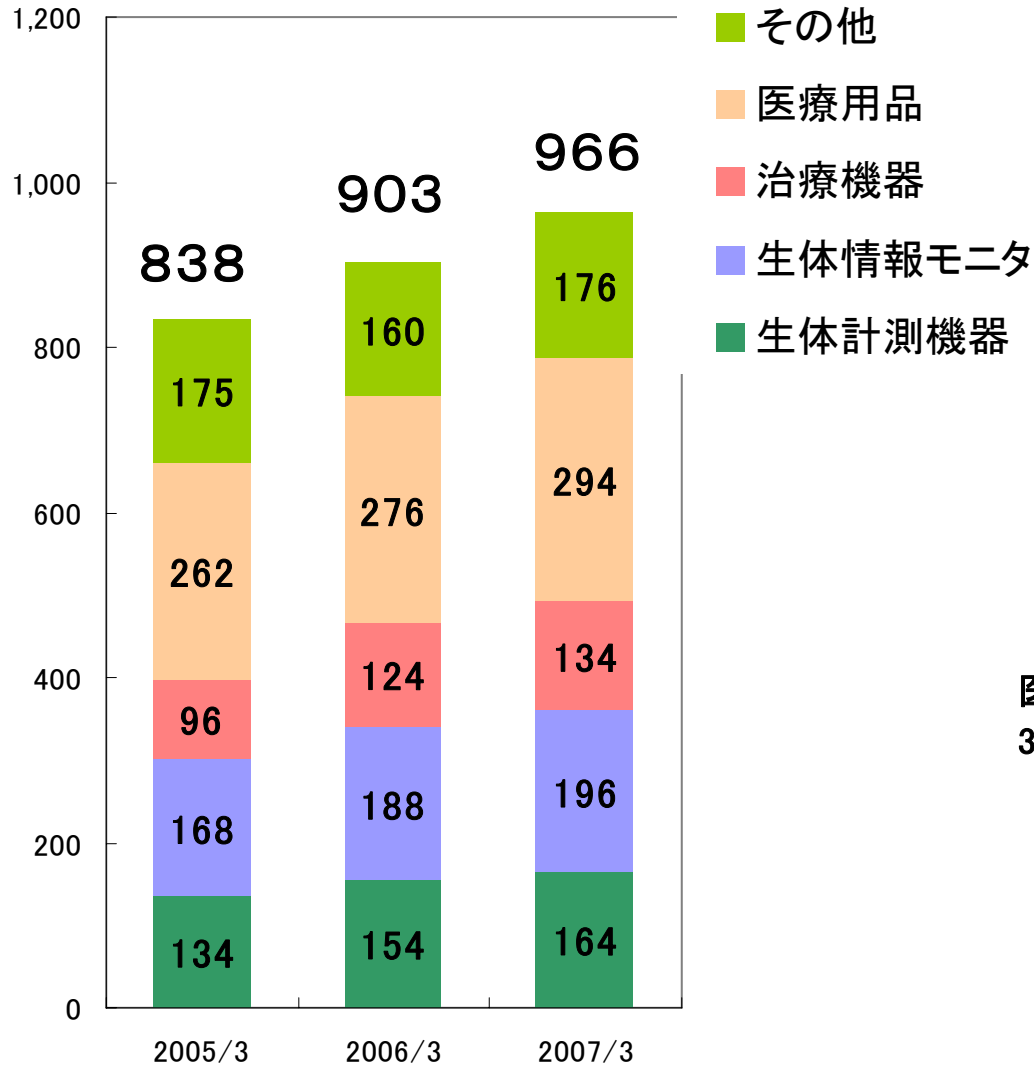
## 2) 営業利益増減の要因分析

(単位:百万円)



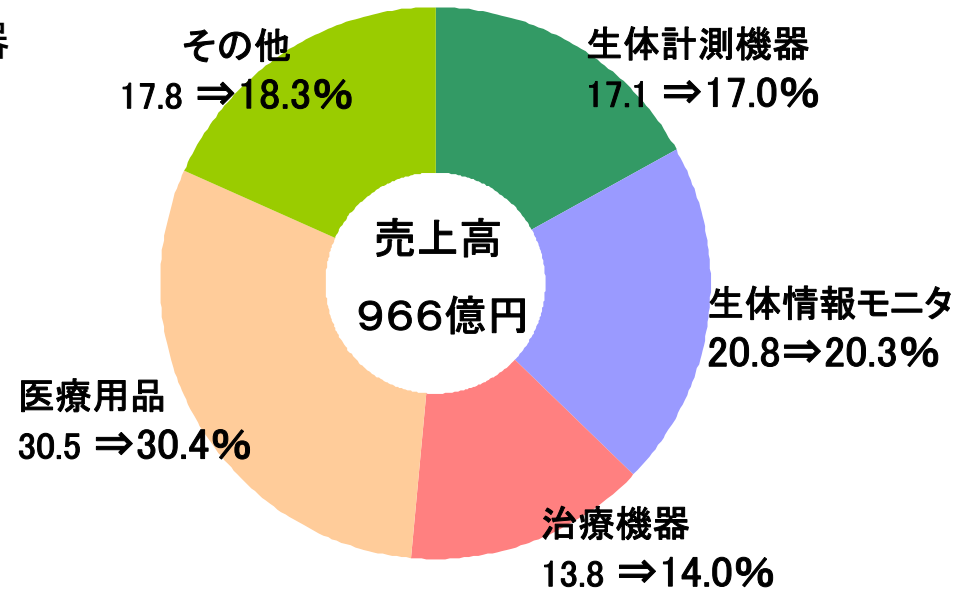
# 3) 商品群別売上高

(億円)



## 商品群別売上構成比

(2006/3⇒2007/3)



# 3.1) 生体計測機器

(単位:百万円)

	前期 (2006/3)	当期 (2007/3)	増減率(%)
脳神経系群	6,911	6,701	△ 3.0
心電計群	5,538	6,119	10.5
ポリグラフ群	2,959	3,662	23.8
生体計測機器合計	15,407	16,481	7.0



脳波計 EEG-1214



心電計 ECG-1350



ポリグラフ RMC-4000

## 3.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前期 (2006/3)	当期 (2007/3)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	18,838	19,673	4.4



ベッドサイドモニタ BSM-9101



セントラルモニタ CNS-9701

# 3.3-1) 治療機器

(単位:百万円)

	前期 (2006/3)	当期 (2007/3)	増減率(%)
除細動器	5,930	7,352	24.0
ペースメーカー	3,474	3,408	△ 1.9
人工呼吸器	2,097	1,621	△ 22.7
その他治療器	967	1,107	14.5
治療機器合計	12,468	13,488	8.2



除細動器 TEC-7700

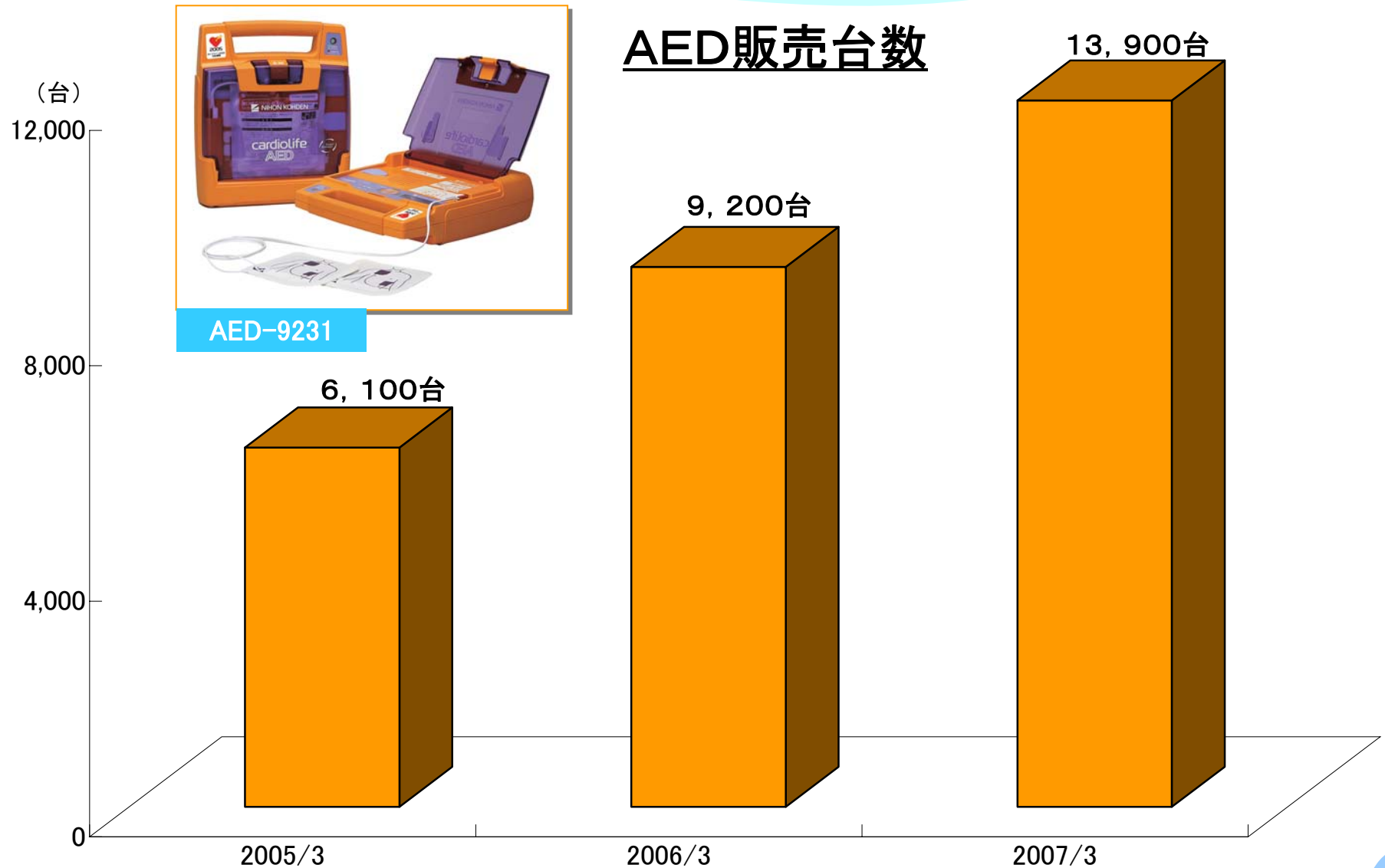


心臓ペースメーカー Philos DR



人工呼吸器 ラファエル カラー

## 3.3-2) AEDの販売実績



## 3.4) 医療用品

(単位:百万円)

	前期 (2006/3)	当期 (2007/3)	増減率(%)
消 耗 品	22,049	23,527	6.7
修 理 ・ 保 守 他	5,557	5,880	5.8
医 療 用 品 合 計	27,606	29,407	6.5



# 3.5) その他

(単位:百万円)

	前期 (2006/3)	当期 (2007/3)	増減率 (%)
その他合計	16,046	17,627	9.9
うち検体検査装置	2,895	3,396	17.3



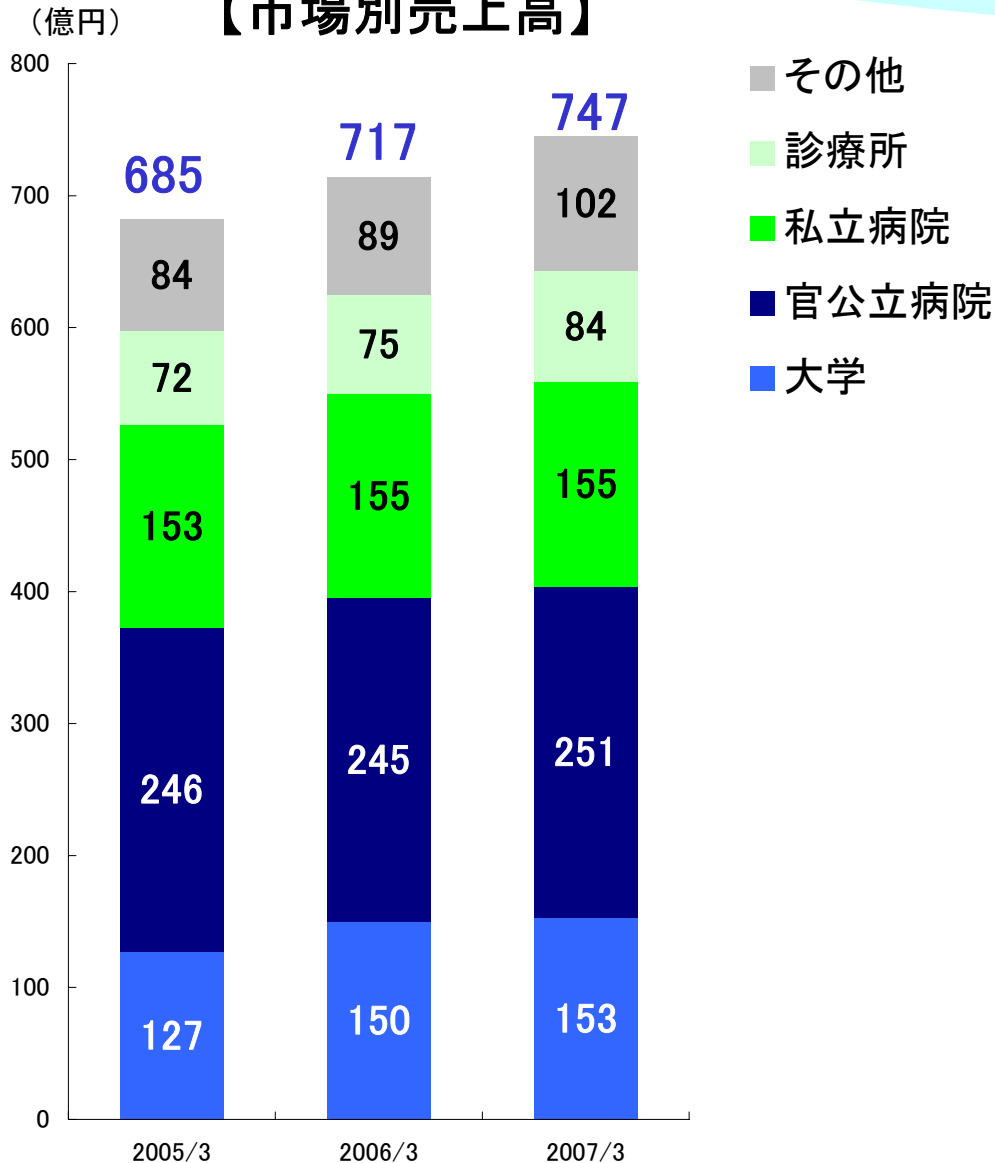
全自動血球計数器 MEK-6400



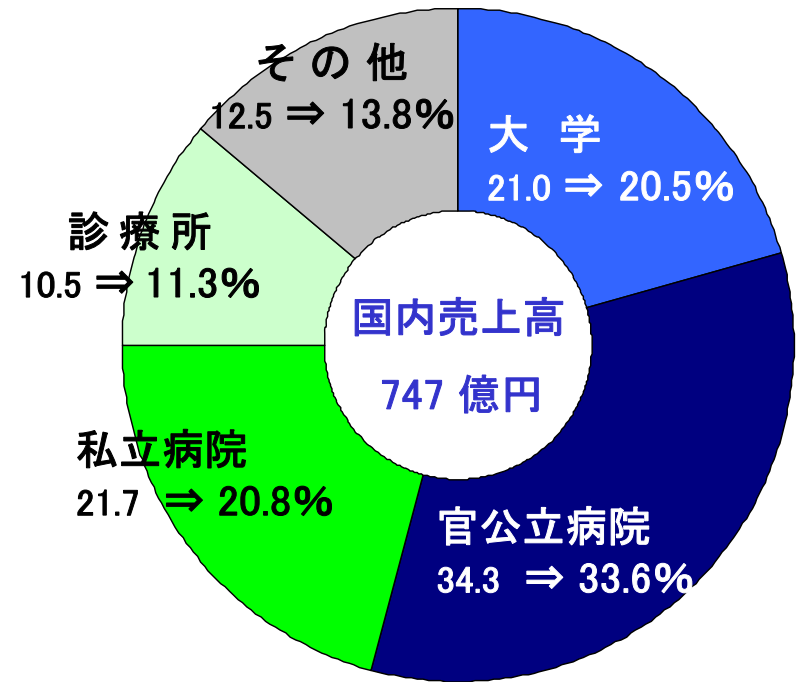
診療支援システム Prime park

# 4) 国内売上高

【市場別売上高】



市場別売上構成比  
(2006/3⇒2007/3)

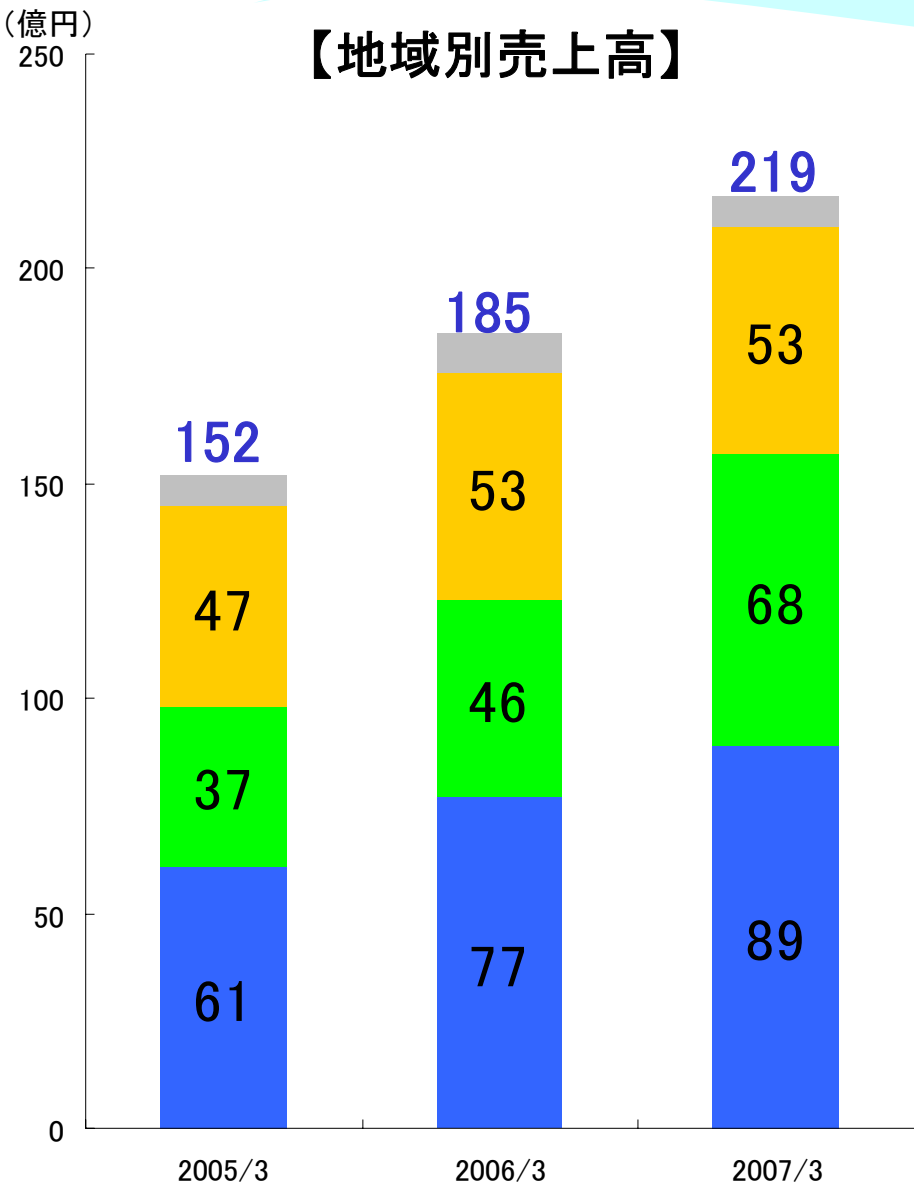


# 5) 海外売上高

【地域別売上高】

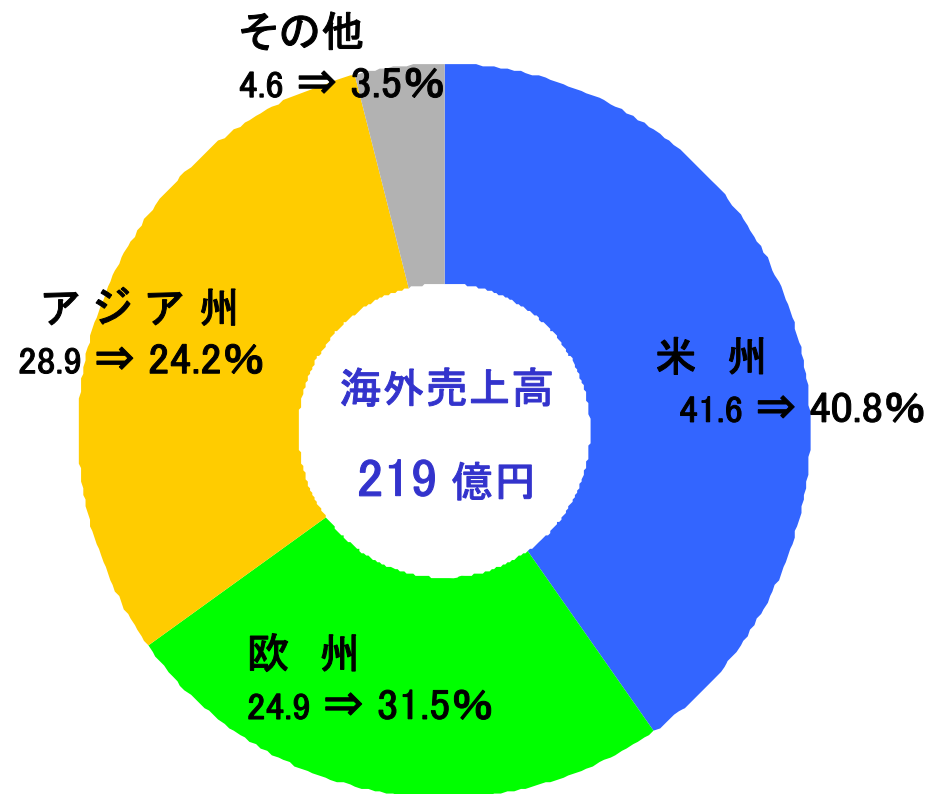
海外売上高比率

2005/3	2006/3	2007/3
18.2%	20.6%	22.7%



地域別構成比

(2006/3⇒2007/3)



注) 2007/3期より「トルコ」の地域区分を「アジア州」から「欧州」に変更しています。

# 6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 (2006/3)	当期末 (2007/3)	増減額
流動資産	58,450	58,908	457
固定資産	15,060	16,985	1,925
資産合計	73,510	75,894	2,383
流動負債	27,296	26,376	△ 919
固定負債	336	653	316
負債合計	27,632	27,029	△ 603
純資産	45,877	48,864	2,986
負債純資産合計	73,510	75,894	2,383

・在庫: +9.2億円 (B/S 150億円)  
→ 海外の大口商談の一部期ずれの影響  
・受取手形・売掛金: △7.6億円 (B/S 288億円)

・有形固定資産: +7.7億円 (B/S 93.1億円)  
→ EMCサイト、東中野事業所移転関連  
・投資その他の資産: +8.0億円 (B/S 66.2億円)  
→ 前払年金費用の増加

・支払手形・買掛金: △12.2億円 (B/S 161.2億円)  
・賞与引当金: +7.3億円 (B/S 18.0億円)

# 7) キャッシュフロー

(単位:百万円)

	前期末 (2006/3)	当期末 (2007/3)	増減額
I 営業CF	7,801	5,882	△ 1,918
II 投資CF	△ 1,514	△ 3,050	△ 1,536
FCF	6,287	2,832	△ 3,454
III 財務CF	△ 2,597	△ 2,591	6
換算差額	402	△ 17	△ 420
増減額	4,091	223	△ 3,868
期末残高	10,804	11,027	223

法人税等の支払 36.8億円(+21.8億円)

有形固定資産の取得 22.4億円  
無形固定資産の取得 4.8億円

配当金の支払 12.3億円  
自己株式の取得 7.4億円  
短期借入金の返済 5.3億円

## 8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	2006/3	2007/3		増減額 (年度比較)	2008/3
	前期実績	計画	実績		計画
設備投資額	1,637	2,800	2,986	1,349	4,000
減価償却費	1,592	1,900	1,698	106	2,100
研究開発費	4,812	5,000	4,756	△ 56	4,900

- 設備投資の実績・・・新製品の「型」、計測器、販促用製品、EMCサイト  
本社一部移転、会計システム 他
- 次期計画の主な案件・・・新製品の「型」投資 / 試薬工場建設〔富岡〕  
基幹系システムの再構築

# 9) 次期業績見通し①

(単位:百万円)

(増減率)	前期実績 (2006/3)	当期実績 (2007/3)	次期予想 (2008/3)
売上高	90,367 (7.8)	96,679 (7.0)	101,000 (4.5)
営業利益	7,414 (3.1)	7,973 (7.5)	8,700 (9.1)
経常利益	8,083 (6.0)	8,448 (4.5)	8,800 (4.2)
当期純利益	5,788 (△11.8)	5,052 (△12.7)	5,500 (8.9)
海外売上高	18,593 (21.8)	21,928 (17.9)	24,600 (12.2)

## 9) 次期業績見通し②

### 【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	前期実績 (2006/3)	当期実績 (2007/3)	次期予想 (2008/3)	増減率(%)
生体計測機器	15,407	16,481	17,000	3.1
生体情報モニタ	18,838	19,673	21,300	8.3
治療機器	12,468	13,488	13,800	2.3
医療用品	27,606	29,407	30,200	2.7
その他	16,046	17,627	18,700	6.1
売上高合計	90,367	96,679	101,000	4.5

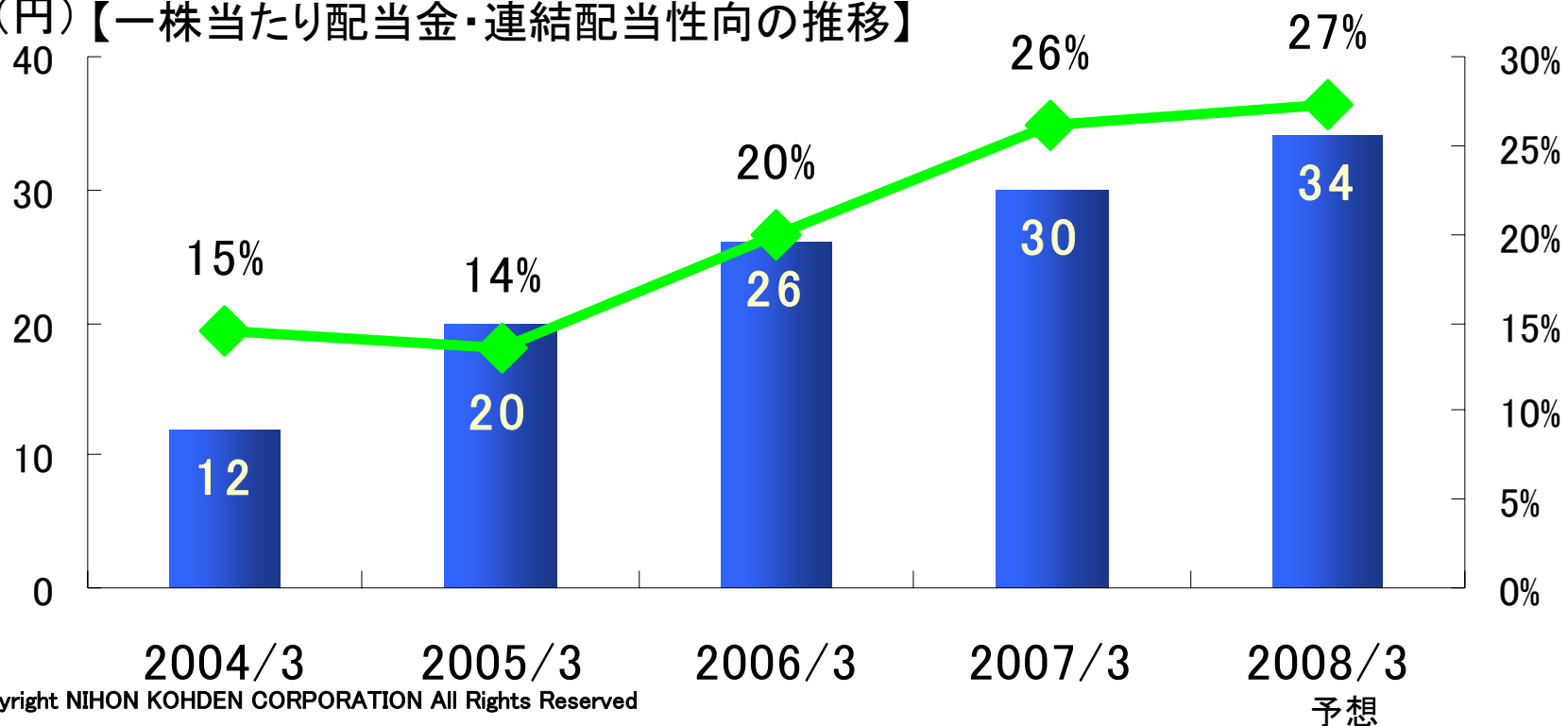
# 10) 株主還元策

## 【基本方針】

企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に配慮しながら、長期にわたって安定的な配当を継続

当面の目安：連結配当性向30%

(円) 【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】





# 中期経営計画

(2008年3月期～2010年3月期)

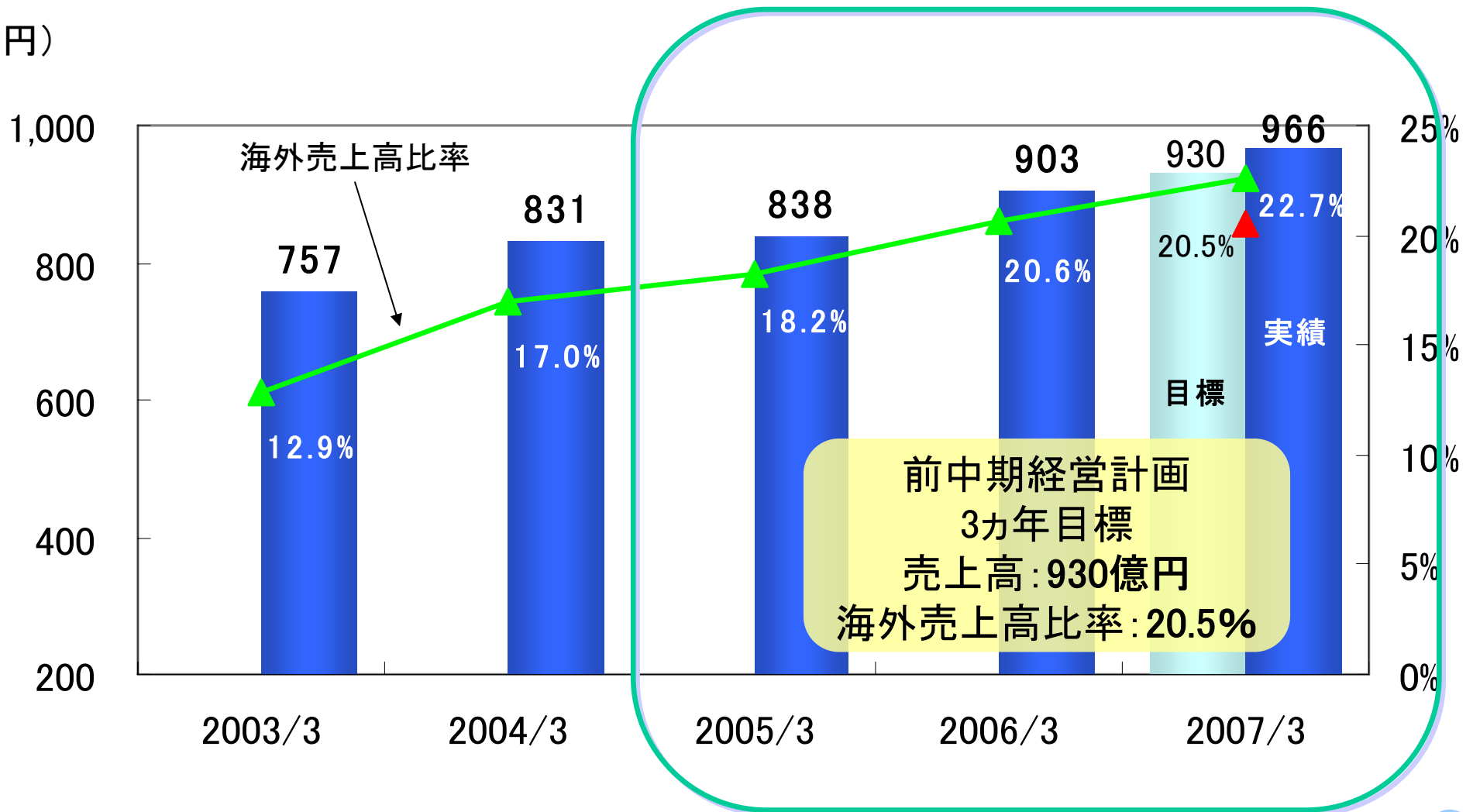
SPEED UP II

中期経営計画

# 1) 前中期経営計画評価①

【売上高・海外売上高比率】

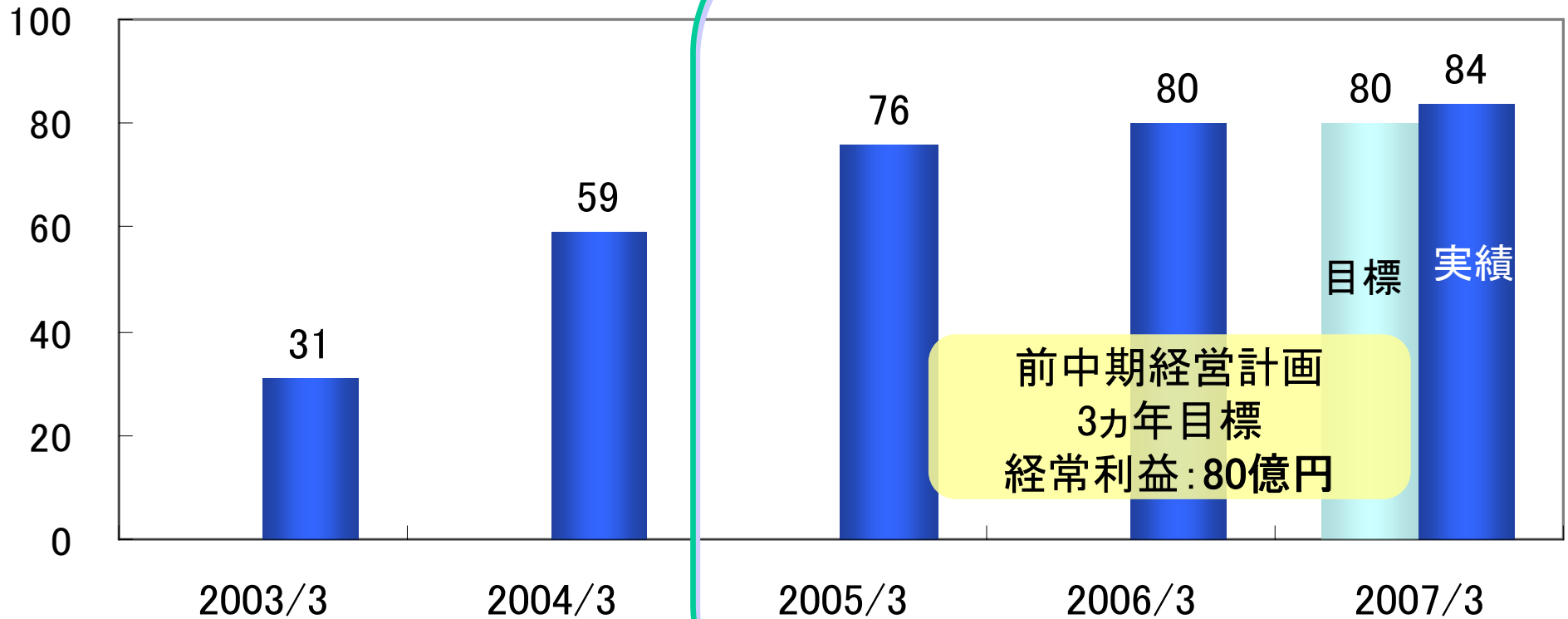
(億円)



# 1) 前中期経営計画評価②

## 【経常利益】

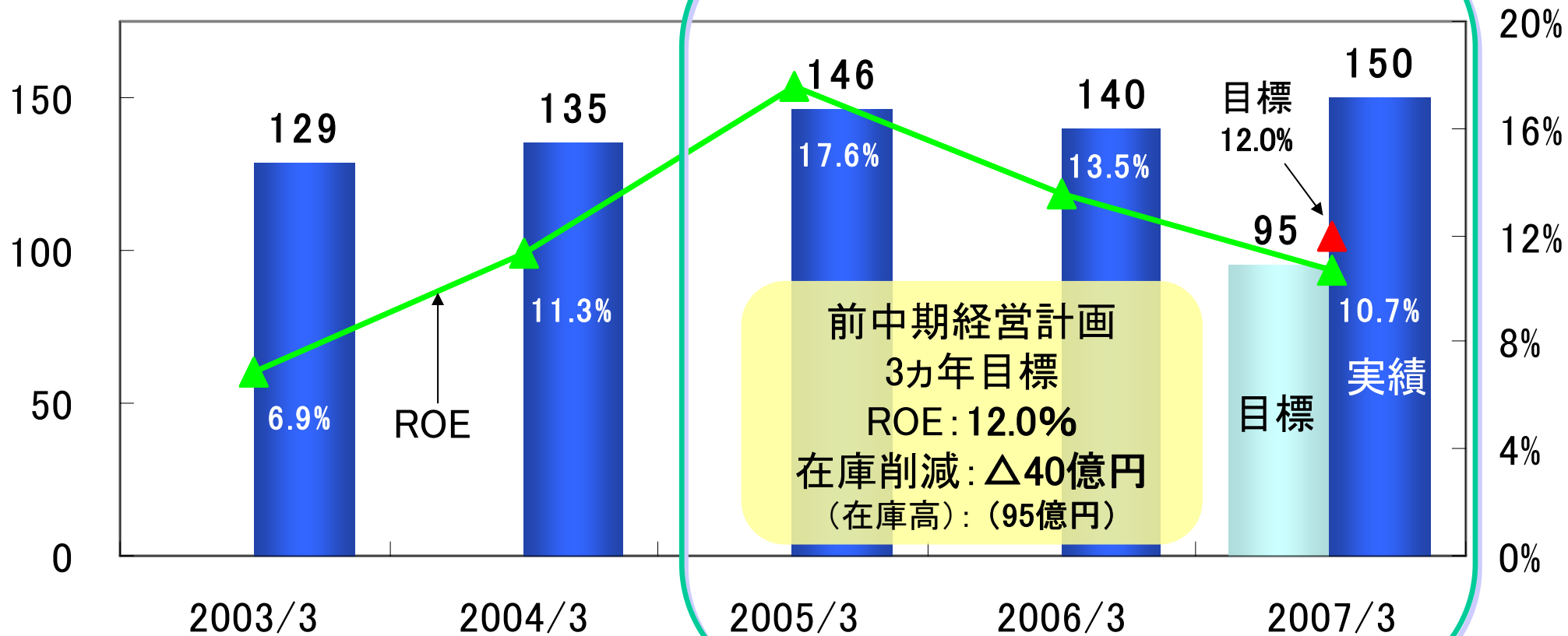
(億円)



# 1) 前中期経営計画評価③

【ROE・在庫高】

(億円)



## 2) 経営環境①

大きく変貌する経営環境 – 国内 –

### 医療制度改革の推進

- 医療費の伸びの抑制
  - 生活習慣病予防の徹底
  - 平均在院日数の短縮
- 医療安全の確保・医療の質の向上・医療の効率化
  - 医療機能の分化・連携の推進(地域連携、在宅医療の充実)
  - 病院IT化の推進(電子カルテ、レセコン)
  - 医療安全体制の確保
  - 医療の情報提供

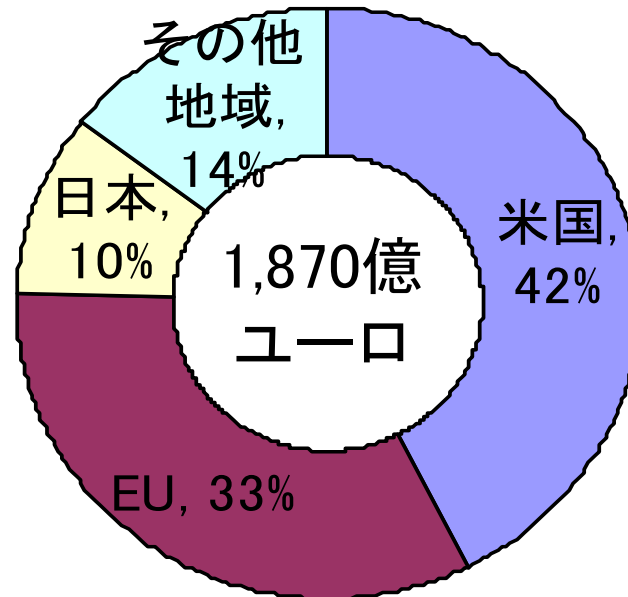
## 2) 経営環境②

### 大きく変貌する経営環境 - 海外 -

- ・ 堅調な欧米市場、急成長のBRICS市場
- ・ M&Aによる業界再編、中国等の新興企業の台頭

【世界の医療機器市場】

2005年



出典: EUCOMED

※参考: 2005年末 1ユーロ=139円

## 3) 経営ビジョン・経営方針

## 経営ビジョン

医用電子機器メーカーとしてのグローバルブランドの確立

## 経営方針

- ① 適正利益の確保による企業価値向上
- ② 顧客の信頼の確立
- ③ 独創的技術・商品の開発
- ④ 事業の重点展開と世界市場の攻略
- ⑤ 事業国際化の推進
- ⑥ 新事業への積極的展開
- ⑦ 業務機構の改革
- ⑧ 全員参加による事業運営
- ⑨ CSRの推進

## 4) 長期経営目標

2012年度までに

**売上高 1,400億円**

**営業利益率 10%**

**海外売上高比率 30%**

を目指す

# 5) 中期経営計画

	2007/3 (実績)	2010/3 中期経営目標値	3カ年 伸び率
売上高	966億円	1,130 億円	16.9%
海外売上高比率	22.7%	27.0 %	
営業利益	79億円	102 億円	27.9%
売上高営業利益率	8.2%	9.0 %	
ROE	10.7%	12.0 %	
在庫回転率 ※	6.4回	7.4回	

※ 売上高÷在庫高(6・9・12・3月末平均)

## 6) 技術開発戦略

診断・治療・医療安全・業務効率の改善に寄与する高付加価値商品<sub>をタイムリーに提供</sub>

- グローバル化に対応するための技術開発体制の強化
  - － 競争に打ち勝つ開発力の確保
  - － 開発期間の短縮
  - － 環境に配慮した商品設計の促進
- 基盤技術の強化
  - － 生体信号処理技術、センサ技術、無線技術、IT・ネットワーク技術の強化
  - － 新たなパラメータ(バイタルサイン)の開発
- 新規事業の創出
  - 産官学連携や他社とのアライアンスを強化
  - 開発の効率化や新分野の技術開発を推進
  - 新規事業の創出へ

## 7) 商品戦略

- 自社の強みを生かせる分野への注力
  - － 急性期病院、かかりつけ医向け商品ラインナップの強化
  - － 病院のIT化に対応するシステムネットワーク商品の強化

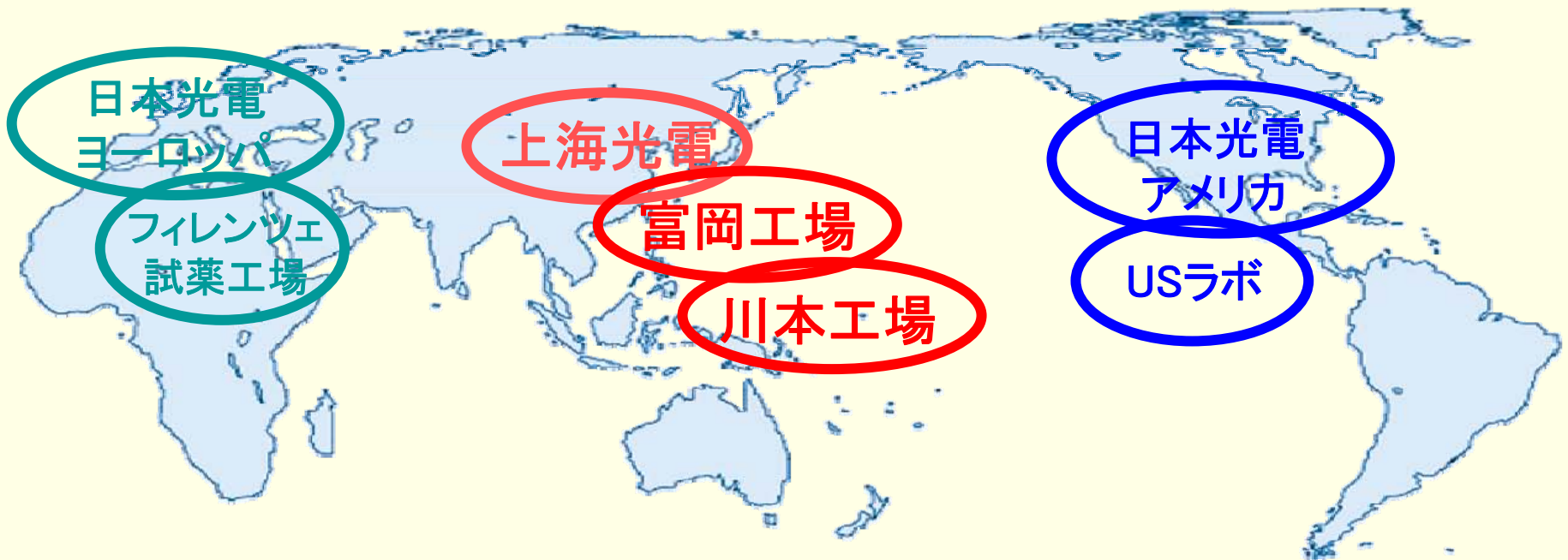
### 新たな取り組み

- 唯一の国産除細動器メーカーとして自社品AEDの開発を加速し、早期の市場導入を目指す
- 2006年に(株)ベネフィックス(医療情報システムの開発・販売)を子会社化、病院向けシステム事業の拡大・強化を目指す

- 医療制度改革に対応した商品ラインナップの強化
  - － 特定健診、医療安全、病診連携システムソリューションへの対応

## 8) 生産・流通戦略

- グローバルな事業展開を支えるための生産体制の強化・品質の確保
- 生産効率のさらなる向上、購買機能の強化によるコストダウンの推進
- 物流と海外生産との最適化による納期短縮、在庫削減、物流コストの削減



# 9) 国内販売戦略

急性期病院市場  
かかりつけ医市場

シェア拡大

- 診断・検査領域でのシステムソリューションを中心とした展開
- 循環器領域の継続強化
- 新規開業支援事業の継続強化

ランニング事業  
PAD事業

事業拡大

- 商品納入後のランニング事業の強化
  - 修理・保守サービス事業
  - 消耗品事業
  - 医療安全に対応した教育・研修事業 等
- PAD市場でのAEDの普及促進とランニング事業の推進

サービス体制  
販売体制

強化

- サービス体制の強化による医療の安全確保への貢献
- 営業体制の強化・育成体制の充実
- 営業員とサービス員の役割見直しによる業務効率の改善

# 10) 海外販売戦略①

販売・サービス体制を強化し、海外事業をさらに拡大

直轄販売網と代理店網の連携強化

アフターサービス体制の強化

## 3極販売体制



グローバルブランドの確立へ

# 10) 海外販売戦略②

## 新たな取り組み

### 欧州

世界クラスの拠点病院への導入実績を活用し、ブランド認知度の向上、他の拠点病院への波及効果を図る

独拠点病院のてんかんシステム受注

### アジア州

### 米州

米クリーブランドクリニック※にてんかんシステムを導入

ハイエンドからローエンドまで生体情報モニタの商品ラインナップを拡充し、海外マーケットシェアの向上を図る

#### 中国

- ・3駐在拠点を設置し、ハイエンド商品を販売。上海光電でローエンド商品を製造・販売
- ・販売網を再整備し、中国事業の拡大を図る

#### 米国

血球計数器の米国販路を早期に開拓し、血球計数器事業の海外展開の拡大を図る

## 11) ガバナンスの強化

- 取締役の員数削減

18名以内→12名以内

- 取締役の任期短縮

2年→1年

- 執行役員制度の導入

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

**【担当部署】 経営企画室**

**【連絡先】 TEL03-5996-8003**